

2010年版

環境活動レポート

認証・登録番号 0000828

(2006年 6月21日 登録)

(2010年 6月21日 更新)

- I. 環境方針
- II. 事業概要
- III. 環境目標と環境活動計画
- IV. 環境目標の実績
- V. 環境活動の取組結果の評価と2011年の取組内容
- VI. 環境情報の開示及び環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- VII. 代表者による全体の評価と見直し

2011年 1月 29日



新和メッキ工業株式会社

I. 環境方針

1. 基本理念

新和メッキ工業株式会社は、化学物質を取り扱う表面処理業者として、地球環境に配慮した企業活動に、全社一丸となって取り組みます。

2. 行動指針

- (1) 環境関連法規制を遵守致します。
- (2) 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に関する目標・計画を定め、継続的な改善と向上に努めます。
- (3) 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- (4) 水の使用量の削減に努めます。
- (5) 廃棄物の削減と適正処理(分別・リサイクル等)に努めます。
- (6) 環境方針の周知徹底を含め、全社員の環境意識の向上を図り、社外に対して公表します。

2005年12月 1日制定

2007年 6月16日改定

新和メッキ工業株式会社

代表取締役社長 瀧見 直人

II. 事業概要

1. 事業所名 新和メッキ工業株式会社
2. 代表者氏名 瀧見 直人
3. 所在地 新潟県上越市大字土橋1631番地
4. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	環境管理責任者	営業部	瀧見 直晃
担当者	環境管理事務局	総務部	瀧見 弘子
連絡先	電話	025-524-5426	
	Fax.	025-524-5498	
	E-mail	takimi@sinwa-mekki.com	
	ホームページURL	http://www.sinwa-mekki.com/	

5. 事業活動の内容

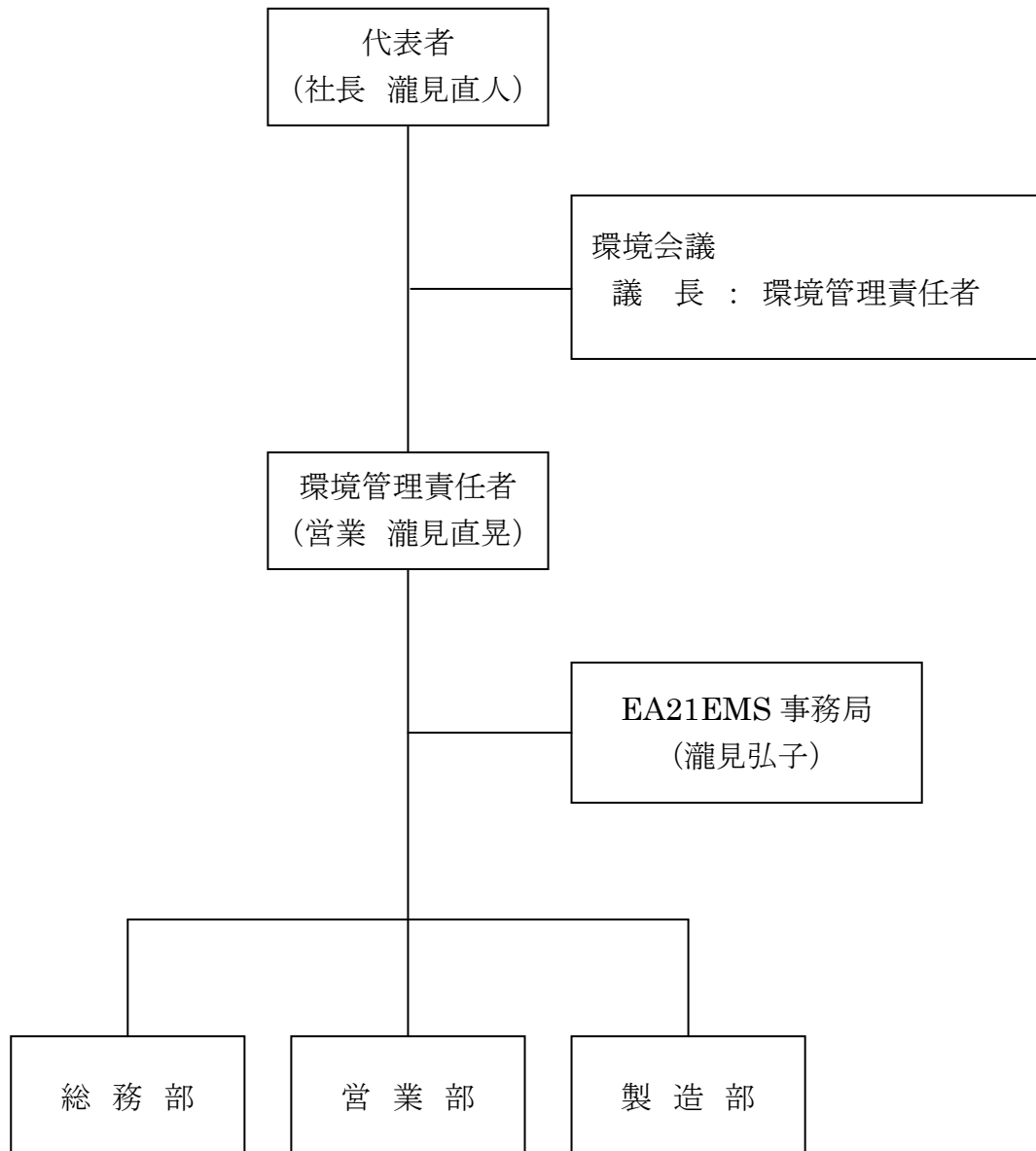
めっき加工及び表面処理であり、その種類は以下に示す通りである。

- (1) ニッケルクロムめっき
- (2) 亜鉛めっき
- (3) ニッケル+錫めっき
- (4) 錫めっき
- (5) ボンデ処理(アルミ素材)
- (6) 無電解ニッケルめっき

6. 事業規模

項目	2007年	2008年	2009年	2010年
売上高(万円)	14,713	12,704	9,101	11,937
従業員数(人)	14	11	11	11
敷地面積(m ²)	1,479	1,479	1,479	1,479
工場延べ床面(m ²)	763	763	763	763

7. 環境経営システムの運用組織



Ⅲ. 環境目標と環境活動計画

環境目標	環境活動計画の内容	活動記録	該当部門
環境関連法規制の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 排出水の水質検査 騒音測定 作業環境測定 健康診断 マニフェストの管理 浄化槽検査 特定施設の届出 消防計画と設備点検 	自主検査記録・計量証明書 騒音測定記録 作業環境測定結果報告書 健康診断結果報告書 マニフェスト 保守点検報告書 特定施設の変更届 消防用設備届 消防用設備点検結果報告書	総務部 社長 総務 総務 総務 総務 社長 社長
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量を1%削減 <ul style="list-style-type: none"> 設備機器空運転の防止 不要時の照明の消灯 蒸気配管の漏れ点検 エコ運転の推進 	環境活動実施記録表	全部門
水使用量の削減	水使用量を1%削減 <ul style="list-style-type: none"> 効率の良い水の使用 配管・バルブの漏れ点検 生活用水の節約 	環境活動実施記録表	全部門
廃棄物の削減と適正処理	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物を1%削減 一般廃棄物分別の徹底及び数量把握 	マニフェスト 廃棄物管理表	総務部
環境意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 教育訓練計画の作成・実施 5S運動の充実 	教育・訓練実施記録表	全部門



工場周辺の美化活動



緊急事態訓練の様子

IV. 環境目標の実績

1. 環境関連法規制の遵守

- 水質検査において、ふっ素の測定値8mg/L以下を保持している。
- 10月15日に市の立ち入り検査においてBODが38mg/Lとなり排水基準に抵触した。その後は是正措置を行い、12月10日の測定では17mg/Lとなった。その他の項目については、排水基準を遵守している。
- 作業環境測定のトリクロロエチレンにおいて、6月の時は第3管理区分の判定であったが、12月の測定では第2管理区分の判定となった。

2. 省資源・省エネルギーの推進と二酸化炭素排出量の削減

本年より会社の現状に合わせ総量ではなく売上対比による比較とする

項目	単位	2008年	2009年	2010年		
		実績値	実績値	実績値	対前年比	
総エネルギー投入量	購入電力	kwh/万円	19.42	22.80	19.43	△14.8%
	軽油	L/万円	0.55	0.77	0.62	△19.5%
	灯油	L/万円	0.15	0.13	0.08	△38.5%
	ガソリン	L/万円	0.15	0.17	0.15	△11.8%
	都市ガス	Nm ³ /万円	5.30	6.57	5.38	△18.1%
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	262,476	229,655	249,142	+8.5%
		kg-CO ₂ /万円	20.67	25.22	20.87	△17.3%

すべての項目が削減され、売上に対するCO₂排出量が17.3%削減された。

3. 水使用量の削減

本年より会社の現状に合わせ上水を総量ではなく売上対比による比較とする

項目	単位	2008年	2009年	2010年	
		実績値	実績値	実績値	対前年比
上水	m ³	9,630	8,609	8,994	+4.5%
	L/万円	758.2	945.9	753.5	△20.3%
地下水	m ³	94	193	1,153	+83.3%

上水使用量は、売上対比で20.3%削減できた。

地下水は消雪の為にのみ使っているが、大雪だった為大幅に増加した。

4. 廃棄物の削減と適正処理

項目		単位	2008年	2009年	2010年	
			実績値	実績値	実績値	対前年比
産業 廃棄物	汚泥	t	22.09	19.15	24.60	+28.5%
		kg/万円	1.74	2.10	2.06	△1.9%
	廃酸	kg	1137	880	1170	+32.9%
	廃アルカリ	kg	5460	360	420	+16.7%
	廃油(トリクレン)	kg	120	0	120	+120%
一般 廃棄物	一般廃棄物合計	kg	1651	1603	1598	△0.3%
	可燃ゴミ	kg	907.8	740.1	833.7	+12.6%
	ダンボール	kg	84.5	126.5	2.6	△97.9%
	缶	kg	4.0	5.2	10.8	+107.7%
	ビン	kg	7.3	3.8	4.4	+15.8%
	金属くず	kg	217.0	338.9	320.3	△5.4%
	不燃ゴミ	kg	160.0	145.9	133.6	△6.4%
	ビニール	kg	271.7	242.5	292.1	+20.5%

産業廃棄物の汚泥は売上対比で1.9%削減した。

一般廃棄物は0.3%削減となった。

V. 環境活動の取組結果の評価と2011年の取組内容

1. 環境関連法規制の遵守について

- ・ 水質汚濁防止法 BODの排水基準に抵触してしまった。
是正処置後は基準値以下を維持している。
今後月1回BODを分析する。
- ・ 労働安全衛生法 トリクロロエチレンの作業環境において6月に第3管理区分、
12月に第2管理区分と判定される。
現状では洗浄機の更新は厳しいので、関係機関の指導を
受けながら最大限努力する。
- ・ その他環境関連法 遵守している。

2. 省資源・省エネルギーの推進とCO₂削減

3. 水使用量の削減

売上が31.2%増加した為、CO₂排出量・水使用量は総量で8.5%・4.5%の増加、売上対比で17.3%・20.3%の削減となった。

環境会議において効率の良い作業を徹底して指導したことにより売上対比で削減することが出来た。

4. 廃棄物の削減と適正処理

産業廃棄物の汚泥について総量で28.5%増加、売上対比で1.9%削減となった。

一般廃棄物0.3%削減で目標の1%削減を達成できなかった。

2011年は達成するよう努力する。

廃酸については、今までは1年更新の薬品を使用していたが、補給にて使用できる薬品に変更したので、来年からは大幅に減らすことが出来る。

廃トリクロロエチレンについては今までは産廃として出していたが、今後は再生資源として引き取ってもらう。

5. 今後の目標

項目	単位	2009年	2010年		2011年	2012年	
		実績値	目標	実績値	比率	目標	目標
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /万円	22.80	1%削減	19.43	△14.8%	1%削減	2%削減
水使用量	mL/万円	945.9	1%削減	753.5	△20.3%	1%削減	2%削減
汚泥	kg/万円	2.10	1%削減	2.08	△1.9%	1%削減	2%削減
一般廃棄物	kg	1,603	1%削減	1,598	△0.3%	1%削減	2%削減

CO₂排出量, 水使用量, 産業廃棄物の比率, 一般廃棄物の比率、及び目標欄は、2009年の実績値に対する削減割合。

2011年、2012年の目標は、2010年の実績値を基準とする。

VI. 環境情報の開示及び環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2010年1月～2010年12月の排水水の検査結果

検査項目	最小値	最大値	排水基準	自主管理基準
pH	6.4	7.9	5.8～8.6	5.8～8.6
SS	3	8	40	40
亜鉛	0.66	2.0	5	2
全クロム	0.09	0.09	2	1
六価クロム	<0.02	0.03	0.5	0.2
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	0.3	0.3
ほう素	0.95	5.7	50	10
ふっ素	1.5	7.5	15	8
BOD	17	38	25	25
アンモニア性窒素 亜硝酸・硝酸性窒素	18.61	32.00	500	100

単位:pHを除きmg/l

2010年10月、市の立ち入り検査において水質検査の結果「BOD」が排水基準に抵触した。

それ以外について環境関連法規の違反、関係当局からの訴訟はありません。

Ⅶ. 代表者による全体の評価と見直し

2010年を振り返るとまずBOD排水基準抵触ということがあった。今後は月一度BODの測定を行い排水基準に適合するよう注意する。

また2010年より、CO₂排出量・水使用量・汚泥排出量を売上対比にした。その結果すべての項目で、2009年のリーマンショック直撃の不景気の年よりも、総量では増加したが、売上対比では削減することが出来た。これには毎月の環境会議にて各ラインの効率についてデータ化し、効率の良い仕事を目指した結果だと思われる。2011年もさらに削減できるよう環境会議を活用していきたい。

産業廃棄物の削減対策として2010年は、廃液の更なる自社処理、使い捨ての薬品から環境負荷の優しい薬品への切り替え、廃油の再資源化に取り組んだ。2010年にスタートしたものでまだ結果は出ていないが、11年からは大幅に産廃を減らすことが見込まれる。

2010年に初めて、教育訓練としてめっきの基礎について講習会を行なった。このような活動を継続することで、品質も向上し、結果環境負荷の低減も出来ると考える。今後も講習会をさらに発展させていきたい。

EA21に取り組んでから5年目を向かえ、会社全体としての環境に対する意識は高まった反面、当初の緊張感がなくなってしまった印象がある。2011年ではもう一度会社全体の緊張感を高めるところからスタートしたい。